

昭和36年上半年(1月~6月)における茨城県 の牛乳生産量および消費量について

農林省茨城統計調査事務所
昭和36年8月29日発表

この調査は県内の乳製品工場、牛乳処理場、および主なる集乳所について調査員調査の結果を集計したものである。県内の54工場、処理場、集乳所のうち本年1月(基準月)における集乳量が月産10トン未満の処理場(場数30,その集乳量は基準月において総集乳量の3.3%に過ぎない)については標本調査他は悉皆調査した結果である。別表のとおり、1月~6月間の総生産量では、前年同期に比して22%増産されているが、乳価は1月に比して6月分の乳価は1kg当り5~6円の値上りのため今後もさらに増産される情勢にある。生乳の移入は、総生産量の8%に過ぎないが、移出は55%に達している。移入は千葉、福島、栃木県からで、移出先は主として東

京、埼玉、千葉で栃木、福島がこれに次いでいる。生乳の用途別消費量のうち飲用向はあまり伸びていない。これは飲用牛乳(ビン詰)を他県より移入することによつて、消費需要との均衡を保っている。従つて飲用牛乳の他県よりの移入量は、県内全消費量の41%に達している。飲用牛乳移入は東京および東京周辺の4大乳業会社と福島(県北部)へからであるが、全生産量の55%を県外に移出し、加工したものを全消費量の41%をも移入している事実は注目に値しよう。

また、乳飲料は、牛乳、加工乳(白色)に比して嗜好飲料として急激に増加しているがアイスクリームの消費増と相俟つて食生活の動向が推察される。

36年上半年(1月~6月)における茨城県内の牛乳生産量および消費量にかんする統計表

区 分	月 別	1 ~ 6 月 合 計		1 月		2 月		
		実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	実 数	前 年 比	
		t	%	t	%	t	%	
牛乳生産量	出荷量	県内工場受乳量 a	15,383	131	2,518	127	2,374	125
		県外 " b	1,622	86	324	81	301	76
		計 a + b = c	17,005	124	2,842	119	2,675	116
	出荷以外の生産量	d	951	95	170	98	160	95
		計 c + d = e	17,956	122	3,012	122	2,835	115
牛乳出の入	県外より生乳移入量 f	1,526	273	231	193	204	246	
	県外へ生乳移出量 g	9,803	140	1,686	138	1,494	127	
生乳消費量 e + f - g = h		9,679	117	1,557	107	1,545	112	
生乳消費用途別量	飲用向消費量 f	5,789	108	913	106	968	108	
	加工向 j	2,851	172	466	120	397	137	
	欠減その他 k	1,039	84	178	90	180	95	
飲用牛乳費の生産量	生産量 l	5,253	109	808	102	870	104	
	移入量 m	3,398	155	488	186	492	147	
	移出量 n	352	137	37	86	44	110	
	県内消費量 l + m + n	8,299	123	1,259	125	1,318	117	
乳飲料の生産		1,254	—	152	—	161	—	

(続)

区 分		3 月		4 月		5 月		6 月	
		実 数	前年比	実 数	前年比	実 数	前年比	実 数	前年比
牛乳生産量	出 荷 量	t	%	t	%	t	%	t	%
	(県内工場受乳量 a)	2,550	130	2,604	129	2,801	134	2,536	138
	(県外 // b)	343	83	218	93	227	102	209	96
	計 a + b = c	2,893	122	2,822	126	3,028	131	2,745	134
	出荷量以外の生産量 d	174	101	147	90	157	93	143	95
計 c + d = e	3,067	120	2,969	123	3,185	129	2,888	131	
牛移出の入	(県外より生乳移入量 f)	265	421	169	155	263	263	394	475
	(県外へ生乳移出量 g)	1,634	134	1,695	147	1,727	154	1,567	144
生乳消費量 e + f - g = n		1,698	122	1,443	106	1,721	119	1,715	143
生乳消費用途別量	(飲用 向消費量 f)	1,006	112	866	107	1,037	109	999	110
	(加工 向 j)	499	169	418	128	515	187	556	670
	(欠減 その他 k)	193	98	159	70	169	76	160	78
飲用牛乳費の生産量	(生産量 l)	921	114	833	113	948	111	873	108
	(移入量 m)	528	218	594	153	637	148	659	125
	(移出量 n)	86	246	31	79	64	136	90	170
	(県内消費量 l + m + n)	1,363	134	1,396	129	1,521	123	1,442	113
乳飲料の生産		192	—	206	155	218	176	281	309

注・欠減その他には自家飲用、糞育用、輸送その他の欠減などをすべて含むものとする。

乳飲料生産は35年4月より調査実施

ステレオ・グラフ

Stereo graphとは立体図表をいう。統計局を見学すると、閲覧室の一隅に新婚夫妻の相関模型があるのに気が付くであろう。

即ち縦軸に夫の年齢、横軸に妻の年齢をとり両変数の交る部分にその結婚件数を柱の高さにあらわした立体模型がある。

立体化された柱が最もよく見える点からの俯瞰を平面上にあらわしたのが立体図表である。

— 編 集 部 —